存在感高める 石油業界

需要の減少が続く石油製品。今後もガスや電気への燃料転換やエコカーの普及などで漸減が避けられそうにない。そうした中でも、石油元売り大手は新規事業や給油所の刷新、異業種との連携など新たな取り組みで未来を切り開こうとしている。だが、需要が減少するからといって、石油資源の確保に安穏としてはいられない。新興国の台頭などで資源の争奪戦は激しさを増している。天然ガスも含めた権益獲得や資源開発への動きは今まで以上に重要となっている。

元売り各社 新たな試み

エネルギーの効率使用 提案

新規事業や異業種連携も

スマートハウス

「エネルギー変換企業」を標榜するJX日鉱日石エネルギーは、石油にこだわらず、液化天然ガス（LNG）、石炭などの資源や発電事業、燃料電池、蓄熱材料などエネルギーに関する幅広い事業を持つ。そうした中、エネルギーを効率的に使用するスマートハウスの取り組みも始めた。

既設の集合住宅を大規模改修する「リノベーション」に、家庭用燃料電池「エネファーム」などエネルギーシステムを採用し、省エネとエネルギーの自給自足を同時に達成しようという試みだ。その実証実験の場として、横浜市磯子区の社宅を改築。エネファームに加え、太陽電池、蓄電池、ヒートポンプ式給湯機を導入し、電力の8割を自前で賄うほか、東芝と連携してエネルギー管理システムを導入。各戸のエネルギー使用状況を最適化し、電気と給湯に伴う二酸化炭素（CO_2）排出量の50%削減を目指す。

JX日鉱日石エネルギーがスマートハウスの実証実験を始めた横浜市磯子区の社宅

EV充電も活用

同じような取り組みを給油所で積極化しているのが昭和シェル石油。子会社が製造するCIS（銅・インジウム・セレン）薄膜太陽電池と蓄電池、さらには電気自動車（EV）搭載バッテリーからの給電を組み合わせた「自立分散型システム」を神奈川県内の給油所に導入した。太陽光発電設備と蓄電池をエネルギー管理システムにより最適管理。CO_2排出量を削減すると同時に、電力会社からの電力使用量を最小限に抑制。また、太陽光で発電した電力でEVに充電し、災害発生時にEVを電源として病院や避難所などに派遣する事業モデルの実証実験も行う。

コスモ石油もJFEエンジニアリング（東京都千代田区）と共同で、太陽電池と蓄電池を活用したEV用充電サービスの実証実験を行う。横浜市瀬谷区の給油所にJFEエンジの蓄電池搭載型急速充電器と太陽電池を設置。蓄電池に安い夜間電力や太陽光で発電した電力を蓄え、昼のピーク時の電源として利用するほか、停電時には軽量機などに給電し、給油機能を維持する。

東燃ゼネラルグループの給油所とセブン―イレブンの複合店

給油所に新業態

一方、給油所を他業態との複合店とすることなどで魅力を高めようというのが、出光興産と東燃ゼネラル石油。出光はカー用品大手のイエローハットと資本業務提携。3年で500店の複合店を展開する。両社でカー用品の仕入れと物流を一本化。新たなオリジナル商品の共同開発や両社の会員特典の相互乗り入れなども進める。また、地方の商店街や有力店と連携し、給油所内に広告を掲示したり、クーポン券を提供したりする地元密着サービスも今夏から本格展開する。

東燃ゼネラルはセブン―イレブンやドトールコーヒーとの複合店を展開中。特にセブン―イレブンとは、小型複合店を中心に今後3年間で100店以上の新規出店を計画する。セブン―イレブンの電子マネー「ナナコ」との相乗りも進める予定だ。さらに、日本マクドナルドとは「ドライブスルー」店舗と相互のクーポン券や割引券を提供し合う共同キャンペーンを実施。小売り・サービス業界との連携を積極化している。

石油開発

世界でイニシアティブ握る

石油資源開発と三菱商事が参画するインドネシア・カンゲアン鉱区のガス田

イラク鉱区取得

5月下旬、国際石油開発帝石がロシアの石油会社と共同でイラクの油田開発鉱区を落札した。近隣にはルメイラ油田やウエスト・クルナ油田など世界有数の油田がある有望鉱区。国際帝石は40%の権益を保有し、ロシア企業と今後5年間に総額1億4000万ドル（約111億円）を投じ、地下構造などのデータ収集や試掘井の掘削などを行う。日本企業によるイラクでの石油鉱区取得は、石油資源開発のガラフ油田に次いで2件目だ。

イラク戦争終結後、中国や韓国勢に比べ出遅れていると指摘される日本企業による進出も、いよいよ本格化しそう。イラクの原油埋蔵量はサウジアラビアやベネズエラ、カナダなどに次ぐ世界5位で、「陸地の油田開発では最も有望」（石油資源開発関係者）と高く評価される。懸念される治安の問題も「まったく問題ない」という。

その国際帝石は新たな中長期ビジョンを発表し、2020年代前半に生産量を現在の日量40万バレル強から100万バレルに引き上げる目標を設定。探鉱費用を今後5年で3000億円、6年後からの10年間で1兆円超を投じるという壮大な計画を披露した。起爆剤となるのが16年末に生産を開始する豪州のイクシスLNGプロジェクト。フル生産に移行する17年以降、生産量が50%増え、キャッシュフローも潤沢になり、外部借り入れの信用力も高まるためだ。これにより、「20年代にはLNGに強い準メジャーとして国際的に認知される」（北村俊昭国際帝石社長）と意気込む。

イクシスLNGプロジェクトのガス液化プラント完成予想図（国際石油開発帝石提供）

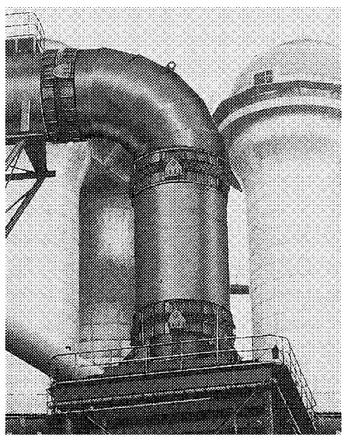
さらなる成長へ

石油資源開発も40%の権益を持つイラクのガラフ油田に加え、カナダのオイルサンド、インドネシアでは三菱商事とカンゲアン鉱区のプロジェクトを展開。海外3大案件で、さらなる成長を目指す。JX日鉱日石開発は東南アジアや豪州を中心に広く事業を展開。最近では、12%の権益を持つ米国メキシコ湾鉱区の深さ約8800バレルの深部で、天然ガスの産出を確認している。

石油元売りなども同様に世界で権益確保に動く。

出光興産はノルウェー領や英国領の北海を中心に探鉱を拡大中。今年も1月にノルウェー領大陸棚で4鉱区の権益を入札で獲得した。コスモ石油は今年度の開発投資を前年の6・7倍に増やし、主に中東での油田開発を強化。カタールの新油田では順調に増産中。アラブ首長国連邦のアブダビでも既存の3油田に加え、新たな油田でも16年に生産を始める予定だ。

AOCホールディングスは、ノルウェー領北海やエジプトのスエズ湾で開発を進めている。



あらゆる産業の配管に
OSK式伸縮管継手！

製作営業品目
一般配管用伸縮管継手
熱交換器用伸縮管継手
埋設配管用伸縮管継手
振動吸収用伸縮管継手
原子力用伸縮管継手
各種フレキシブルチューブ
電動式チューブクリーナー
創業1925年

株式会社 オクダソカベ
http://www.okuda-sogabe.co.jp　E-mail:osk@okuda-sogabe.co.jp
本社　〒578-0977 東大阪市鴻池徳庵町3番 ☎06(6745)5678
大阪事業所　〒578-0977 東大阪市鴻池徳庵町3－73 ☎06(6745)5671(大代)
東京事業所　〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目41－8 ☎03(3685)0311(代表)
九州事業所　〒803-0842 北九州市小倉北区泉台1丁目9－17 ☎093(652)1234(代表)
中四国営業所　〒713-8103 倉敷市玉島乙島字新湊8255 ☎086(525)6711(代表)
北海道営業所　〒060-0002 札幌市中央区北2条西13-1-1 ☎011(271)7175(代表)
大阪工場　〒578-0977 東大阪市鴻池徳庵町3番 ☎06(6745)5661(大代)
奈良工場　〒630-0142 奈良県生駒市北田原町2360番 ☎0743(78)0581(代表)
岡山臨海工場　〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島(水島港玉島E地区) ☎086(525)6511(代表)

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

私たちは、日本を代表する多様なエネルギーを供給する
企業として、世界各地で70を超える石油・天然ガスの
探鉱・開発プロジェクトに従事しています。
これからも積極的な国際展開により
石油・天然ガスの安定的な供給にたゆまぬ努力を続け
次世代に向けて豊かな明日を拓くために一層の貢献を図ってまいります。

国際石油開発帝石株式会社
〒107-6332　東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー
Tel: 03-5572-0200　Fax: 03-5572-0205　URL: http://www.inpex.co.jp/
INPEX　検索